



校長室より



令和6年7月25日

No.12

自分らしく生きる 豊かに生きる

夏休み前半の取組からピックアップしてみました

7月21日(日)に梅雨明けした後は猛暑日が続いていますね。大変危険な暑さなので体調面には十分気をつけてください。夏休みに入っすぐ、学校に待望の自動販売機が設置されました。これは防災の取組の中で、備蓄品の確保目的でPTAより設置していただきました。普段は水分確保のために活用できるので、児童生徒からも長年にわたって設置を希望されていましたから、うれしいことですよね。ご活用ください。



7月23日(火)は全校登校日でした。二学部中学部生が、小学部児童、高等部生徒、教職員を招いて夏祭りを開催しました。射的、釣り堀、かき氷、綿菓子、ポテト、たこ焼き、どのコーナーもにぎわっていましたね。中学部生は準備から運営まで自分の役割を果たしながら祭りを盛り上げてくれましたね。2度と戻らない夏を満喫できたのではないのでしょうか。



7月24日(水)、本校主催の「教育と福祉の連携協議会」が行われました。支援を必要とする子どもたちを地域で支えていくためには、教育と福祉の連携は欠くことができないものです。今年も幼稚園・保育園、小学校、中学校、高校、特別支援学校、市町村教育委員会、市町村の相談支援員、市町村役場の福祉担当等32名の申込をいただき、本校教員とともに研修の場となりました。まずは、有田中央高校の生徒支援指導部の教員より「有田中央高校における生徒支援の方向性と通級による指導の取組」について講義をいただき、グループ協議では「切れ目のない支援に向けて」について3グループに分かれて話し合いを行いました。全職員で生徒の困り感を分かち合うことや自分事としてとらえなおすこと、学校全体で支援していくことは、まさに今各学校に求められていることだと思います。グループ協議で話し合った、各年代でできる支援、支援の引継ぎ、多職種連携は、子どもたち一人一人について考えていきたいことです。

